

## 信州リサイクル製品認定制度評価基準提案書

令和 年 月 日

信州リサイクル製品普及拡大協議会長 様

提 案 者

住所（本社所在地）

氏名（会社等名称）

（代表者氏名）

電話番号 （ ）

信州リサイクル製品認定制度実施要綱第19条第1項の規定により、次のとおりリサイクル資材の対象品目及び評価基準の変更又は追加について提案します。

記

1 提案品目名	
2 提案品目の概要	
3 提案品目の環境面のメリット	
4 評価基準（案）	
5 比較対照品目名	
6 比較対照品目の選 定 理 由	
7 提案品目の用途	

(注) 1 提案品目の概要が分かる図・写真を含むシートを1枚添付すること。

2 提案内容自己チェック票・個票1・個票2を添付すること。

(様式第9号一付表)

## 提案内容自己チェック票

記入要領に従って、提案内容について(1)～(3)のチェックを実施して下さい。

以下のチェックの結果、B欄すべてに○を記入できた場合は、様式と記述の根拠となる資料等の作成を開始してください。

提案資料作成後、提出の前に再度自己チェックを行い、C欄に○を記入してください。

チェック項目	A	B	C
	この項目に該当する(又は必要事項の記入、記述の根拠となる資料の添付ができない)	この項目に該当せず、必要事項の記入、記述の根拠となる資料の添付ができると思う	この項目に関して、必要事項が記入され、記述の根拠となる資料が添付されている
(1) 県又は市町村等の公共工事において調達しないもの、または、極めて少ないものに該当しませんか?			
(2) 環境負荷低減に関する特性について、提案内容を客観的に評価するための資料がないものに該当しませんか?			
(3) 環境負荷低減以外の特性(品質確保(安全性、耐久性)の確実さやコストの適正さ等)を判断するための資料がないものに該当しませんか?			



B欄にすべて○を記入できた場合は、提案書の作成を開始してください



A欄にひとつでも該当項目がある場合は提案をご遠慮下さい



C欄にすべて○を記入できた場合は、(4)を記入してください

(4) 参考情報 (いずれかに○)

1. 以前自らが提案した	
2. 以前には提案していない	

以前の提案品目名称	
以前の提案者名	

提案資料一式を提出してください。



(様式第9号一個票1)

## 提案品目の環境負荷低減に関する特性

### 1 地球温暖化やエネルギー消費量の増大に関する特性

※特でない場合は、「特になし」と明記

○環境負荷低減の内容と程度に関する自己評価	●環境負荷増大が懸念される内容と程度

① 環境負荷低減の内容と程度に関する自己評価の根拠（具体的かつ定量的に説明すること。）

- ・比較対象品目のマーケット規模と当該品目のシェア拡大による環境負荷低減効果
- ・調達1単位あたり及び全体の環境負荷低減効果（以下の項目も同様）

資料No.

② 環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する根拠（具体的かつ定量的に説明すること。）

資料No.

### 2 廃棄物処分量に関する特性（リサイクル関係）

※特でない場合は、「特になし」と明記

○環境負荷低減の内容と程度に関する自己評価	●環境負荷増大が懸念される内容と程度

① 環境負荷低減の内容と程度に関する自己評価の根拠（具体的かつ定量的に説明すること。）

資料No.

② 環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する根拠（具体的かつ定量的に説明すること。）

資料No.

### 3 生物多様性の保全に関する特性（生物の生息環境の悪化および生態系の破壊に関する特性等）

※特にない場合は、「特になし」と明記

○環境負荷低減の内容と程度に関する自己評価	●環境負荷増大が懸念される内容と程度

① 環境負荷低減の内容と程度に関する自己評価の根拠（具体的かつ定量的に説明すること。）

資料No.

② 環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する根拠（具体的かつ定量的に説明すること。）

資料No.

### 4 有害化学物質に関する特性（大気汚染・水質汚濁等）

※特にない場合は、「特になし」と明記

○環境負荷低減の内容と程度に関する自己評価	●環境負荷増大が懸念される内容と程度

① 環境負荷低減の内容と程度に関する自己評価の根拠（具体的かつ定量的に説明すること。）

資料No.

② 環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する根拠（具体的かつ定量的に説明すること。）

資料No.

5 その他の環境負荷特性【記入：】

※特にない場合は、「特になし」と明記

○環境負荷低減の内容と程度に関する自己評価	●環境負荷増大が懸念される内容と程度

① 環境負荷低減の内容と程度に関する自己評価の根拠（具体的かつ定量的に説明すること。）

資料No.

② 環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する根拠（具体的かつ定量的に説明すること。）

資料No.

1 提案品目の品質基準、施工指針・基準等

①-1 有無

(ある、ない、不明より選択)

①-2 内容

	作成者	名称・番号
1		
2		
3		
4		
5		

② 根拠資料

資料No.

1' 比較対象品目の品質基準、施工指針・基準等

①-1 有無

(ある、ない、不明より選択)

①-2 内容

	作成者	名称・番号
1		
2		
3		
4		
5		

② 根拠資料

資料No.

## 2 目的物の性能を確保する条件（使用にあたっての制限条件等）

### ① 自己評価

（比較対象と比べて制約が、同等、小さい、大きい、より選択）

### ② 自己評価の根拠となる具体的な使用条件、使用範囲、使用方法等

資料 No.

## 2' 安全性・労働環境衛生性

### ① 自己評価

（比較対象と比べて危険性が、同等、低い、高い、より選択）

### ② 自己評価の根拠となる具体的な条件等

資料 No.

## 3 コスト（単位当たり価格等）

### ① 自己評価

（比較対象と比べて、同等、安価、高価、より選択）

### ② 自己評価の根拠となる単価等（比較対象品目と同等の性能を発揮することを前提に記載のこと。）

	提案品目	比較対象品目
単価		
単価比較の条件（積算根拠等）		
資料 No.		

## 4 供給可能地域（地域、季節による入手の難易度等）

### ① 自己評価

（比較対象と比べて、入手難易度が、同等、低い、高い、より選択）

### ② 自己評価の根拠となる具体的な供給可能地域

資料 No.

## 5 使用実績等

### ① 工事件数及び普及率

出荷数量、工事件数など		提案品目の普及率
提案品目	提案品目・比較対象品目を含む全体	
資料 No.		

### ② ①が困難な場合、比較対象と比べた普及状況についてのコメント

--

### ③ 提案品目の公共工事における過去3か年度の使用実績（国・県・市町村等による調達実績）

	平成	年度	平成	年度	平成	年度
数量						

### ④ 提案品目の使用例（国・県・市町村等）

	年度	発注者／施工箇所	工事名称	用途・使用数量	実績報告書等
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
資料 No.					

### ⑤ 今後の普及及び価格低減の見込みと限界

--